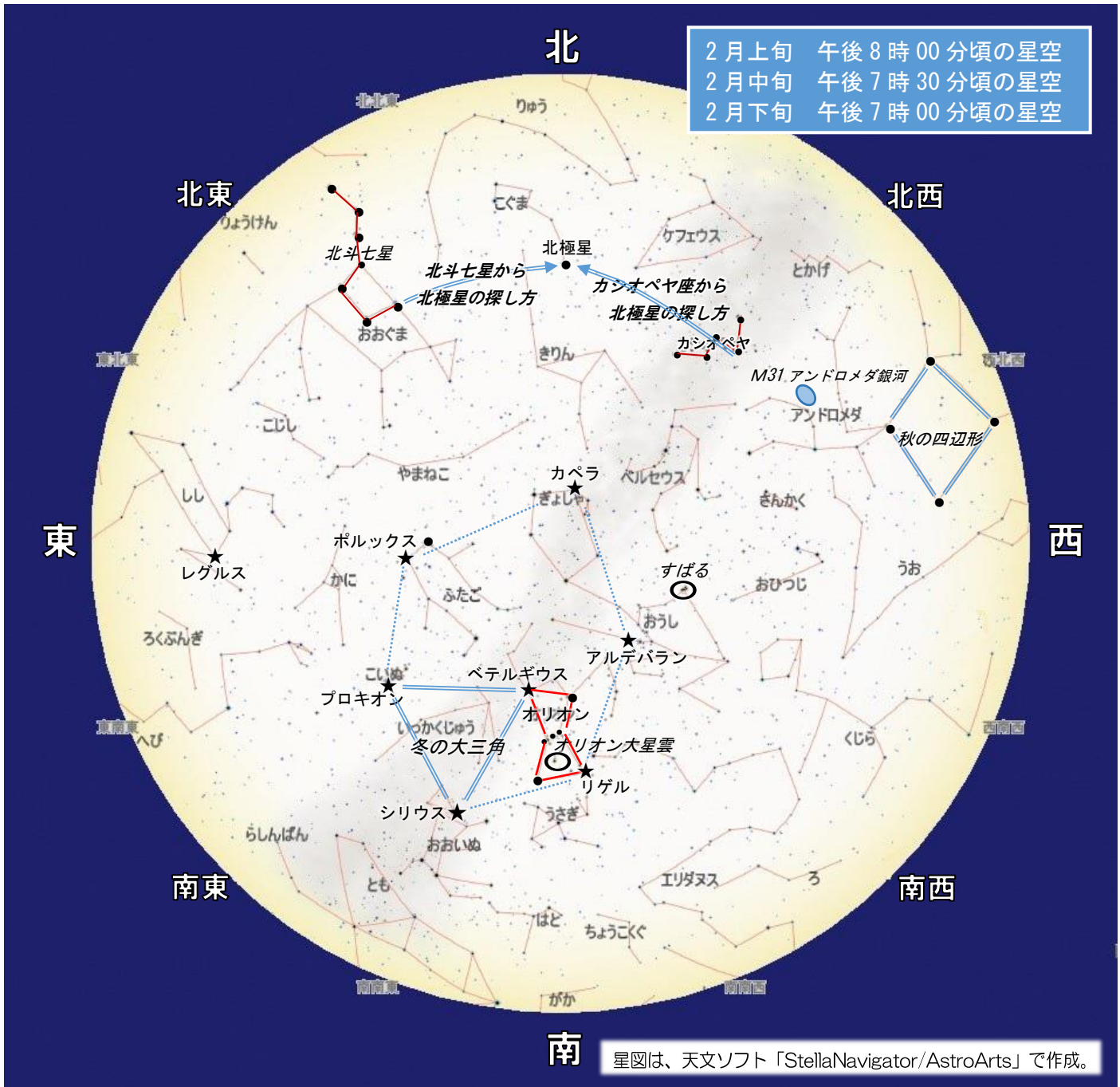


2022年 2月の星空案内



【2月の星空】

冬の星座たちがひととき明るく輝いています。オレンジ色の「ベテルギウス」と白い「リゲル」2つの1等星をもつ「オリオン座」は冬の代表です。「ベテルギウス」と、おおいぬ座の「シリウス」、こいぬ座の「プロキオン」を結びと『冬の大三角』ができます。さらに「ポルックス」、「カペラ」、「アルデバラン」、「リゲル」とつないでできる六角形を、『冬のダイヤモンド』と呼びます。

空の暗いところで双眼鏡を使うと、すばる（M45:プレアデス星団）は数十個の若い星々の集まりが、オリオン大星雲（M42）は星の周りにモヤっとした光のにじみが観察できます。

【「明けの明星」金星と水星】

昨年未まで、「宵の明星」として夕方の西空に輝いていた金星ですが、1月9日に内合（太陽と地球の間）を通過し、今度は早朝の東の空に見えます。2月13日に最大光度（-4.9等：天文年鑑）をむかえ、夏の終わりまで「明けの明星」として輝きます。また、2月上旬には、金星と火星（12月に最接近）、水星（17日に西方最大離角）が、明け方の東の空にそろって見えます。

星図は、天文ソフト「StellaNavigator/AstroArts」で作成。